

阪神・淡路大震災
地下鉄サリン事件
円相場 1ドル=80円を突破

- 1月 田原町東赤石、赤石へ字名変更
- 3月 田原町やぐま台へ字名変更
- 4月 芦ヶ池農業公園（サンテパルク田原）オープン
- 8月 田原まつり会館オープン
終戦50周年記念碑を文化会館玄関前に設置
- 12月 旭町はなとき通りオープン

たはら歴史探訪クラブ

その5

負の文化財と戦争の記憶（一）

太平洋戦争開戦前から昭和18年頃までは本土防衛に関する作戦は主として空襲による被害を防ぐことでした。しかし戦局が悪化し空襲が現実となってくると、米軍による本土侵攻計画に対して本土防衛作戦を作成し、その準備を行いました。特に太平洋に面した渥美半島は米軍の上陸が心配される場所で、本土決戦のため渥美半島から静岡県西部の遠州灘を望む一帯には、第七三師団（通称怒部隊）が配置され、防禦陣地の構築が進められました。怒部隊には海から上陸する米軍を迎え撃ち、名古屋への進行を遅らせる任務が与えら

れました。現在の田原中部小学校にはかつて怒部隊の歩兵第一九八連隊が駐屯しており、10年ほど前に、校庭から砲弾などが発見されたのはまだ記憶に新しいことです。

渥美半島にはこのような理由から、本土決戦に備えた戦争遺跡がいくつが残っています。戦争末期に秘密に行われたため、構築に関わった軍関係者や付近の住民など限られた人しか知りません。このほか住民の避難場所である防空壕が各地域、住宅内などに構築されました。現在田原町内には、防禦施設として笠山陣地、蔵王山陣地、雨が森尾根陣地などの陣地壕が残っています。これらは、山などの尾根や斜面などに築いたものです。また監視哨（馬草）、軍需工場（日本曹達）などもありました。このような施設のほか、海岸近くに「タコ壺」と呼ばれる一人用の穴を掘ったものもあり、ゲリラ戦を行うことを想定し、最悪の場合は自爆するという恐ろしい作戦も考えていたのです。軍の作戦上では、あくまでも渥美半島を足止めの地域と想定していたようです。なんとという恐ろしいことでしょうか。もしかしたら渥美半島に、沖縄と同じような悲劇が起こっていたかもしれません。

ところで昨年9月、波瀬の雷電神社の下で戦時中の防空壕が見つかりました。地元の方によると全部で3にカ所存在し、それぞれを共同で使用していたそうです。これらの防空壕は戦況が悪化し、艦砲射撃がくるようになってから村で作ったそうで、話しからは当時の緊張感が伝わってくるようです。

「負」というマイナスの文化財。戦争遺跡の研究家伊藤厚史さんが名づけた、戦争に関わる遺跡を形容する言葉です。戦争は、決して誇れる行為ではありません。また、覆い隠すことなく二度とこのようなことが起こらない「争いのない世界」をつくるため、後世に伝えていかなければなりません。戦争遺跡はこの事実を伝える文化財ですが、これらの遺跡のことは秘密が多く、よくわかっていません。もしお近くにありましたらぜひお知らせください。

●波瀬で見つかった防空壕（斜面を坑道状に掘り抜いてある）



今月の表紙

かつて「太陽王」と呼ばれたフランスのルイ14世は、太陽の花ひまわりを王家の紋章にするほど、この花を好んでいたといえます。17世紀に、彼が贅沢の限りを尽くして宮廷に仕立て上げたヴェルサイユ宮殿には、今でもひまわりが植えられています。さて、ルイ14世は芸術をこよなく愛する一方で、絶対王政のもと侵略戦争を次々に仕掛けていきました。また奇行も数多かつたため、民衆には好かれておらず、彼が崩御したときはパリが歓喜に包まれたそうです。しかし彼の残したヴェルサイユ宮殿は、その規格外の豪華さゆえに素晴らしい遺産となりました。かつて独裁の象徴であったものが、現在では美の遺産となる。この皮肉が、歴史の持つ面白さではないでしょうか。

【人口と世帯数】

総人口	36,839人	
男性	18,829人	
女性	18,010人	
世帯数	11,495世帯	
出生	19人	死亡 26人
転入	79人	転出 103人
増減	-31人	

(平成13年7月1日現在・増減は6月中)

【行政面積】 82.86 km²

(平成11年10月1日現在・国土地理院調べ)

広報たはらは、森林資源保護のため再生紙（古紙100%）を使用しています。

▽田原町博物館 ☎22局1720